

時代を読んで ニーズに応える。



時代は、インフラの整備から維持へと大きく転換し、
求められる知識や技術力が多様化しています。

そんな時代は、港湾・漁港・海岸施設の再生と活用を目標とし、
豊かな発想力や幅広い知識と経験により、確かな技術力を提供します。

機能保全 (長寿命化) 計画策定

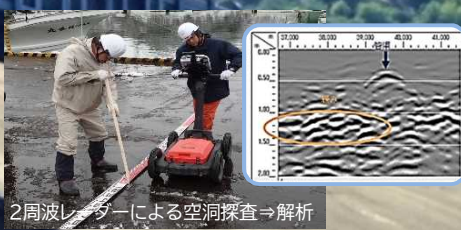
現地ヒアリング・既往資料による施設の重要度・構造・環境・整備計画等の把握
部材の現況評価、施設の総合評価、劣化進行予測
対策工の検討、LCCの算定
機能保全計画の策定
(保全目標・方針、機能保全レベル・対策効果、点検計画、補修計画、管理計画など)

施設 点検調査

(初回点検・定期点検・詳細点検・臨時点検)
目視調査(陸上・海上・水中)、空洞化調査(削孔・レーダー探査)
コンクリートコア採取・分析試験
変位測量、鋼材肉厚測定、陽極消耗量調査、電位測定、鉄筋探査など



コンクリートコアの採取⇒分析試験



2周波レーダーによる空洞探査⇒解析



矢板の残存肉厚測定⇒耐用年数算定



空中UAVによるブロック
飛散状況撮影(動画)⇒図化



水中ドローンによる物揚場
変状目視動画撮影



4K画像で動画保存

施設点検調査の実施例

早期劣化や経年的な劣化現象

ほおっておくと
危険性と費用が増大

➤ 鋼構造物の腐食



鋼材の腐食・矢板孔食
による内部土砂の流出



土砂流出による
エプロンの沈下・陥没



➤ コンクリート構造物の 剥離・剥落



外的要因(中性化・塩害・アルカリ骨材反
応・凍結融解等)による劣化の進行



コンクリートの剥離・剥落進行による
構造物としての耐力(安定性)の低下

その他 関連技術

NEW これまでのダイバーによる水中目視を水中ドローンを活用し、大幅なコスト縮減、作業の効率化、安全性の向上が図れます(令和元年度から実績あり)。

- (ブロックの飛散状況や、徒歩ではいけない島防波堤など)ドローン等のICT技術を活用して作業の効率化、安全性の向上を図り、撮影・図化を実施します。
- 劣化の原因究明調査として、掘削調査、ボーリング、水中VTRカメラ撮影・ファイバースコープ調査、水質・底質調査、土壌調査・簡易貫入試験、施設環境調査等を実施します。
- 施設の維持管理として、施設基本情報、既存調査資料および機能保全計画書などをGISシステムにより、一元化管理する『維持管理支援システムGIS』の設計・製作を行います。

業務実績

➤ 施設点検調査・健全度調査業務

H24 苫前漁港老朽化調査業務	留萌開建
H25 紋別港国有港湾施設老朽化点検調査業務	網走開建
国有港湾施設詳細点検調査業務	苫小牧港 管理組合
江良漁港外現況調査業務	函館開建
H26 三石業務外1港機能保全計画作成その他業務	室蘭開建
根室港港湾施設現況調査業務	釧路開建
H28 国有港湾施設定期点検診断業務(西港区)	苫小牧港 管理組合
H29 松前港維持管理調査委託業務	松前町
H30 登別漁港現況調査その他業務	室蘭開建
R 1 えりも港北防波堤実施設計その他業務	苫小牧港 管理組合
苫小牧港港湾施設定期点検診断外業務	苫小牧港 管理組合

➤ 機能保全・維持管理計画策定業務

H24 石狩湾新港維持管理計画策定業務	石狩湾新港 管理組合
H25 函館建設管理部管内(渡島東)海岸堤防等機能保全計画策定委託	函館建管
H26 蛸谷漁港機能保全計画基本計画策定委託	函館建管
H27 大樹漁港水産物供給基盤機能保全工事機能保全計画策定	帯広建管
恵山泊漁港水産物供給基盤機能保全工事計画策定	稚内建管
H28 新湊漁港水産物供給基盤機能保全計画策定	稚内建管
東栄漁港機能保全工事計画策定	室蘭建管
H29 吉岡漁港機能保全計画基本計画策定委託	函館建管
目黒漁港機能保全工事計画策定	室蘭建管
H30 枝幸港湾海岸保全施設長寿命化計画策定業務委託	枝幸町
R 1 苫小牧港晴海ふ頭幹線外維持管理計画策定業務	苫小牧港 管理組合



パブリックコンサルタント株式会社

技術部 河川・海洋港湾課 下山・北川 ☎ 011-222-2606(直通)

所在地 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第2道通ビル

TEL 代表 (011)222-3338 FAX(011)251-3176

URL <https://www.public-con.co.jp/>